



認定番号0005278

小芦建設株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年10月1日～2024 年9月30日)



作成日： 2024年11月1日

目 次

項 目	ページ
I. 環境経営方針	3
II. 組織の概要	4
III. 認証・登録の対象組織・活動	4
IV. 事業や製品(商品)の紹介	4
V. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
VI. 主な環境負荷の実績	6
VII. 環境経営目標及びその実績	6
VIII. 環境経営計画の取組結果とその評価	6
IX. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
X. 緊急事態対応訓練	9
XI. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9

I．環境経営方針

1、環境理念

小芦建設株式会社は、長きにわたり土木工事で地域社会に貢献してまいりました。

しかし、環境問題を問われる昨今、我が社が率先して環境負荷の削減につとめ、工事を進めることによって、環境保全も加えた地域社会に貢献が出来る信じ行動する。又、環境経営の継続的改善をする。

2、行動指針

我社は、建設工事活動を通じて全社員で次の項目に取り組みます。

- (1)環境関連法規制を遵守します。
- (2)エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、
汚染の予防と継続的改善に努めます。
- (3)事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 自動車の燃費の向上
 - ・ 電力使用量の削減
 - ②廃棄物排出量の削減
 - ・ 建設現場や事務所における廃棄物の削減
 - ③水使用量の削減
 - ・ 水使用量の節約
 - ④自らが施工・販売・提供する製品及びサービス
 - ・ 建設現場において環境への取組をチェックし環境負荷を低減する
 - ⑤ICT施工の積極的推進

3、この環境方針は全従業員に周知するとともに

社会にも公開します。



制定日 2009年10月10日

改定日 2020年10月10日

Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
小芦建設株式会社
代表取締役 小芦 孝彦
- (2) 所在地
本 社 兵庫県加西市中富町932の4
丹波営業所 兵庫県丹波市市島町乙河内995
資材置き場 兵庫県加西市満久町75-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 課長・環境管理責任者 奥村 信 TEL:0790-44-0524
- (4) 事業内容
土木工事の監理・施工
- (5) 事業の規模
売上高 22500 万円
- | | | | | | |
|----------------------|-----|-------|-------|--|------|
| | 本 社 | 丹波営業所 | 資材置き場 | | 合計 |
| 従業員 名 | 9 | 0 | 0 | | 9 |
| 延べ床面積 m ² | 140 | 0 | 1700 | | 1840 |
- (6) 事業年度 10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 小芦建設株式会社
対象事業所: 本 社
丹波営業所
資材置き場

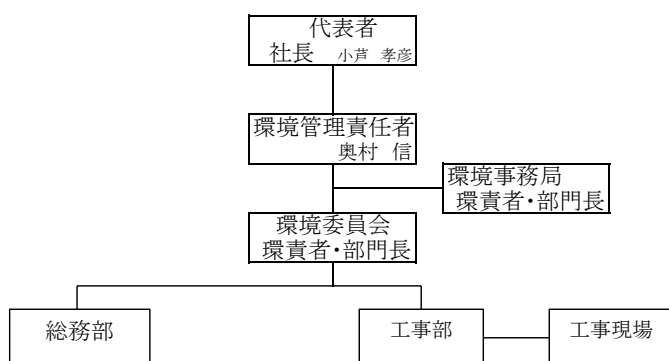
対象外: なし
活動: 土木工事の監理・施工

Ⅳ. 事業や製品(商品)の紹介



施工例:加西インター産業団地整備工事

V.環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	- 環境経営計画の審議 - 環境活動実績の確認・評価
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

VI. 主な環境負荷の実績

項 目	單位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素總排放量	kg·CO ₂	309,759	234,878	277,398
廢棄物排放量				
一般廢棄物排放量	k g	154	151	144
產業廢棄物排放量	k g	1,042,350	11,820	3,280
總排水量	m ³	88	59	59

※二酸化炭素排出係数	0.42	kg-CO2/kWh	関西電力の調整後の係数(2022年度)
------------	------	------------	---------------------

※負荷の実績は工事現場を含む

VII.環境経営目標及びその実績

年 度		基準値 (基準年)	2023年		評 価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
項 目			(目標)	(実績)			
電力の削減	kWh	8,802	8,714	8,813	×	8,626	8,538
	基準年度比	2022年	99%	100%	／	98%	97%
ガソリンの削減	L	5,357	5,303	4,416	○	5,250	5,196
	基準年度比	2022年	99%	82%	／	98%	97%
軽油の削減	L	83,352	82,518	100,385	×	81,685	80,851
	基準年度比	2022年	99%	120%	／	98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	234,878	232,529	277,398	×	230,180	227,832
一般廃棄物の削減	kg	151	149	144	○	148	146
	基準年度比	2022年	99%	95%	／	98%	97%
産業廃棄物の適正管理	kg	728,730		3,280	○適正管理	適正管理	
水道水の維持管理	m³	59		56	○維持管理	維持管理	
ICT施工の積極的推進		行動目標(次項による)					
環境負荷の低減の チェック活動		行動目標(次項による)					

*化学物質の使用なし

VIII.環境経営計画の取組結果とその評価

数值目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

二酸化炭素排出量					
排出量の推移 (kg-CO ₂)			排出量の内訳		
	2021年	2022年	2023年	2024年 (目標)	2025年 (目標)
排出量	309,759	234,878	277,398	230,180	227,832

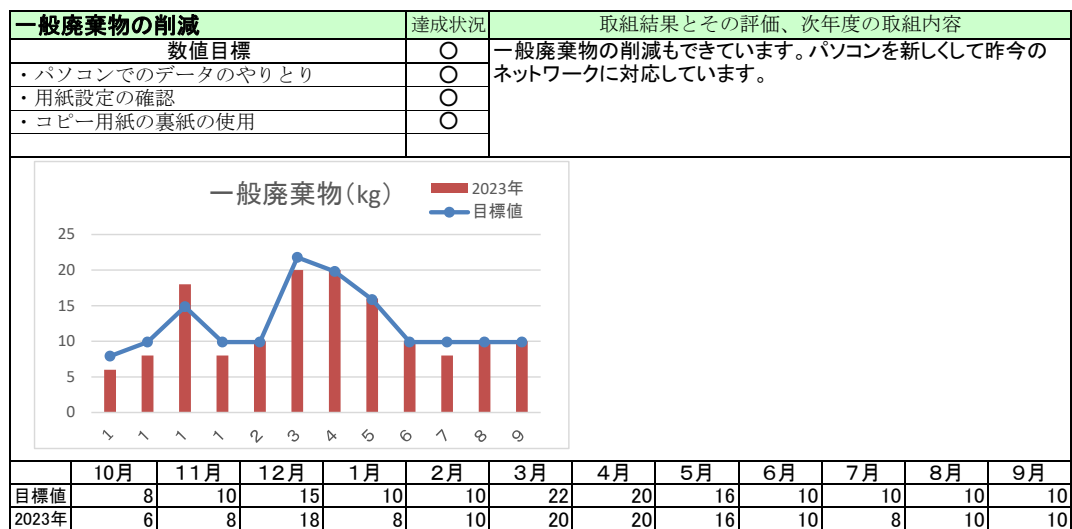
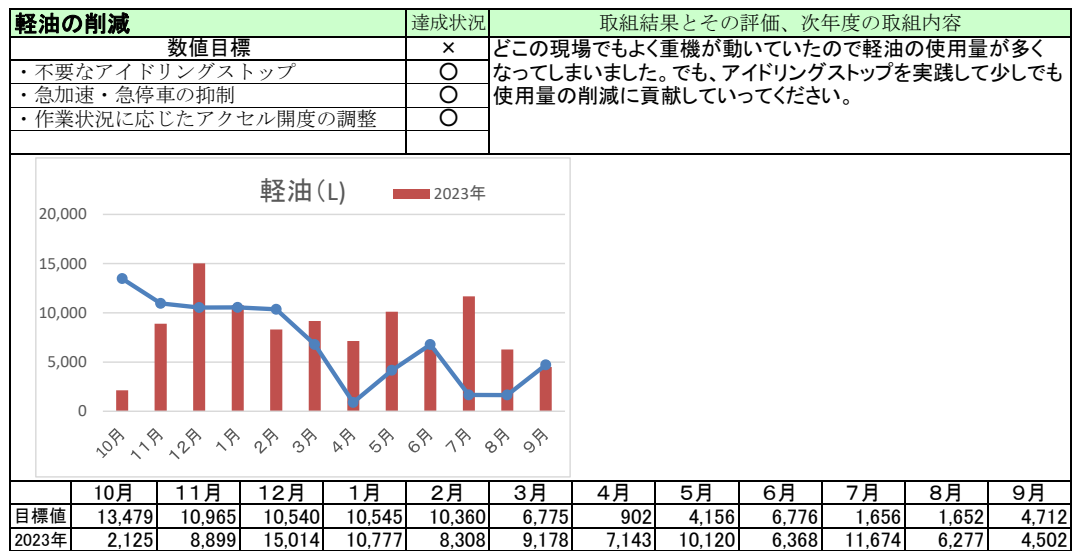
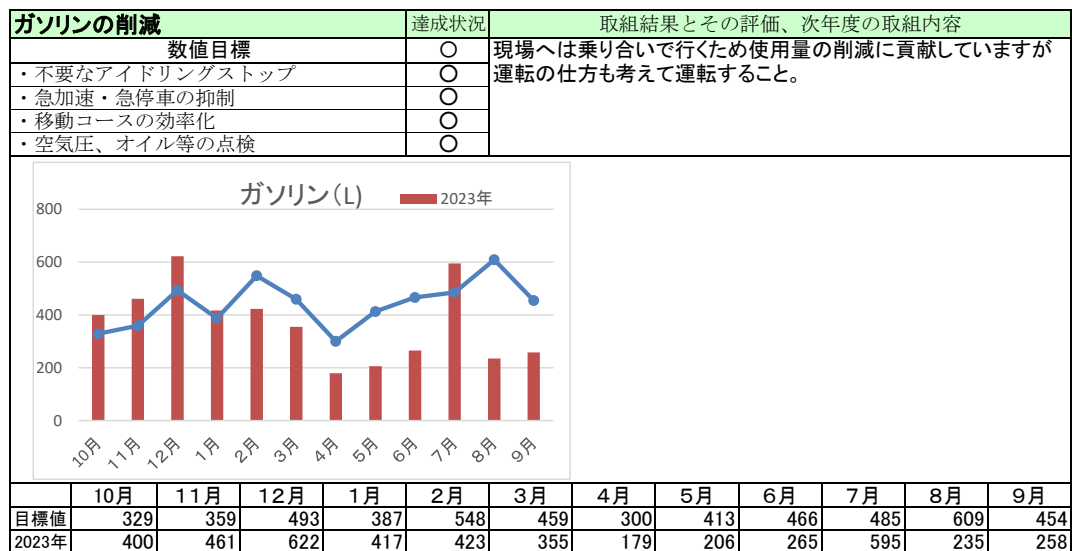
	軽油	ガソリン	電力
内訳	263,444	10,252.5	3,701.46

* 排出係数は、2022年の関電の排出係数に換算しています。

電力の削減		達成状況	取組結果とその評価
数値目標		×	なんとか目標は達成出来ています。この調子で引き続きよろしくお願いします。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		○	
・パソコンの電源off		○	
・残業の削減		○	

電力(kWh)

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	597	502	796	939	1,032	905	759	616	528	550	807	731
目標値	615	507	779	1,130	963	848	725	627	573	573	726	748



産業廃棄物の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ マニフェストでの管理	○	今年度は、産廃の発生する仕事が少ないために少量でした。今後も産廃が発生する現場はマニフェストでしっかりと管理していきます。

水道水の維持管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 出しっぱなしの禁止	○	水使用量は最低ラインでの使用となっていますが水道代が上がっています。
・ 蛇口の締めを確認	○	

ICT施工の積極的推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ ICTを使って施工する	○	ICTの機械を導入しました。現場での使用が多くなってきています。
・ ICTの機械の導入	○	

環境負荷の低減のチェック活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 安全指示事項の周知(各現場のKYで行う)	○	現場の地元周辺に誇りが飛散ないように散水したり、作動油が漏れ出ると吸着マットを使用したりして対応しており、苦情はきておりません。
・ 点検整備の実施(各現場の点検簿に準ず)	○	
・ 環境負荷の少ない機械の選定	○	
・ トラブル対応	○	

IX.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

X.緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024/6/9	■実施場所： 現場
■参加者： 小芦・福田・奥村・仲田・浦川・西田・仲田尚	■実施内容： ・火災訓練
■評価： 今回は現場での火災訓練を実施しました。	手順書の変更の必要 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

XI.代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年11月1日

今年度の仕事の受注は、下請け工事が多くなっています。元請け工事は、地元の工事や舗装修繕工事にとどまりました。しかし、下請けでは元請けからの工事の依頼のリピート率が多く、入札が出れば見積依頼が頻繁に入ってきており、安定して仕事が入ってきています。環境経営方針はそのまま変更ありません。環境経営計画書の目標達成手段の項目を一部変更します。実施体制はそのまま続行します。燃料費や材料費が高騰していきますが環境への負荷を減らし安全に次年度に取り組んでいきたい。

- | | | |
|-----------|--|--|
| 環境経営方針 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり 実績を踏まえて見直す |
| 実施体制 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |